

みんなの文芸



俳句 うらほる俳句会

喜寿だから髪リラ色に染めてみる
 せせらぎや花の宴をつれて去る
 衣更似合う春着が見あたらず
 五月晴れ茶道具送り黙しけり
 通過駅裏白よもぎ揺れて昼
 高速を抜けるや夏めくビルの街
 満席の通夜に扇子のしおしおと

川柳 浦幌川柳会

誕生日曾孫に花束渡されて
 俳諧師批評いつしか脱線し
 婆ちゃんの遺影に見せる初スーツ
 日溜まりの歩幅ゆつくり聴きながら

川柳 上浦幌句の会

思い出の句を残す友櫻花
 恵み雨麦の青さが伸び伸びと
 野菜苗大きくなれよと土をかけ
 花の色赤青黄色と思いつつ
 句の殿が桜花道逝く浄土
 土の香が足音待ってハウス中
 運動会応援うけてがんばる孫
 乾燥で畑からからめぐみ雨

短歌 心友愛会

この春は桜もみずに家の中
 犬とけんかが私の花見
 自信もなくす一人暮らしの入院のみ
 足腰わるく辛い日々あり
 悩みごと会の人達だんだんと
 足腰よわり笑顔がうすれ
 仕事増え自分の体ままならぬ
 でも元氣だし皆の力
 迷いねこ住みついてから家族増え
 餌をねだるか可愛い鳴き声
 山プキを料理してから皆して
 食事会して笑顔のかわわ
 高齢になりし今では子供等の
 世話にならぬ思えどもつい
 すすぎ揺れおぼろづき夜やなつぼし
 ひとめぼれしや我肥える
 病み上がり傷ぐちあわれ我が乳房
 そつと手をふれ涙ぐみてか

編集後記

■今年の運動会・体育祭
 シーズンは天候に悩まされ
 ましたが、なんとか子ども
 たちが躍動する姿を見るこ
 とができました。子どもが
 減り、学校が少なくなり、
 街中で遊ぶ姿もなかなか見
 られない昨今ですが、グラ
 ウンドで元氣な姿を眺め、
 応援合戦の声を聞くと、な
 んだか安堵感に包まれて目
 を細めてしまいます。来年
 も再来年もその先もずっと
 この姿が見られるように
 願っています。
 ■町の家畜共進会が50周年
 を迎えました。会場で配ら
 れた小冊子には、何代も前
 から酪農・畜産関係者が努
 力を重ねてきた足跡が刻ま
 れていました。改めて、町
 の産業を支えてきたその歴
 史に思いをはせました。
 (大)
 ■掲載された写真は、差し
 上げますので(本人または
 家族)、お気軽にご連絡く
 ださい。